



## 鬼八伝説にも語り継がれる霜宮の火焚き神事



千年を超える歴史をもつ阿蘇神社の農耕祭事のひとつ「火焚き神事」（国指定重要無形民俗文化財。氏子は上役犬原、下役犬原、竹原地区）が8月19日から霜神社で始まりました。この神事は、農作物の霜被害を恐れ行われてきたもので10月16日までの59日間、火を絶やさず神事を行います（昔は火焚き乙女が火の番をしていましたが現在は学校の関係で氏子が行っています）。今年、火焚き乙女をつとめたのは上役犬原の山口はるなさん（碧水小4年）で、介添えに祖母のサヨ子さんが付かれました。

このほか、10月18日の夜渡には肥後神楽や夜渡相撲が行われます。



▲火焚き小屋で火番をする山口はるなさん（右）とサヨ子さん（左）



## 開湯109年。今も良質の内牧温泉で感謝祭



8月1日、阿蘇温泉観光旅館協同組合（稲吉淳一理事長）は、内牧1区の薬師地蔵の前での温泉神事を皮切りに、与謝野晶子・鉄幹来訪75周年記念「晶子祭」、「内牧源泉掛流しの宿の会」発足記念無料ジャスライブ、温泉浴場の無料開放などを行い、たくさんの方々に内牧温泉の魅力を紹介し、良質の温泉に親しんでもらいました。組合では来年からも毎年感謝祭を実施し、独特のもてなしと伝統ある素材を活かして『内牧温泉』の知名度アップを図っていきます。

▲温泉神事では神前に、旅館・ホテル等30施設が屋号付きの湯桶にそれぞれの温泉を注ぎ祈願。「この温泉が出たから今の私たちがいる」と、良質で豊富な温泉の恵みに感謝しました。

与謝野晶子・鉄幹来訪75周年記念「晶子祭」は、二人が宿とした内牧の「蘇山郷」で行われました。日本近代文学会会員の近藤晋平氏が「与謝野晶子と九州」と題し講演をされ、二人が阿蘇を訪れたとき詠んだ作品の数々を披露するなど、当時来訪の際、県が迎えに来るほどの文学者だった二人の来訪を偲びました。



## 白熱！消防団の玉落とし大会

平成19年度阿蘇市消防団通常点検及び標的落とし大会が、8月26日、内牧遊水池で開催され、24分団749人が競技に挑みました。この大会は市民の安心した生活を守るための訓練とし、操法大会と一年おきに行われています。



### 規律の部（通常点検） 参加数30

- 1位 7分団2部（大道、坂の上）
- 2位 9分団5部（乙姫、下西黒川、黒川千丁）
- 3位 10分団1部（永草、枳）

### 標的落とし競技の部

#### 【可搬の部】 参加数26

- 1位 9分団4部2班（上西黒川）
- 2位 2分団2部2班（西1、2、3区）
- 3位 11分団1部1班（狩尾1区）

#### 【積載車の部】 参加数42

- 1位 10分団2部2班（車帰）
- 2位 9分団4部1班（南黒川、元黒川）
- 3位 5分団1部2班（原口、上井手、下井手）

#### 【ポンプの部】 参加数4

- 1位 10分団2部1班（赤水）
- 2位 12分団1部2班（小里、内牧4区）

### <各種表彰>

#### ■消防庁長官表彰（25年以上）

鳴川三郎（元副団長）

#### ■熊本県知事表彰（25年）

佐藤慎一（元副団長）

久保田英男（6分団団員）

首藤太（7分団団員）

岩瀬新次（6分団団員）

岩下秀春（7分団団員）

久保績男（元6分団班長）

岩下勝己（元5分団班長）

#### ■日本消防協会表彰

倉岡孝範（元副団長）

井手孝義（2分団分団長）

佐藤富士男（3分団分団長）

岩下道幸（7分団分団長）

鳴川三郎（元副団長）